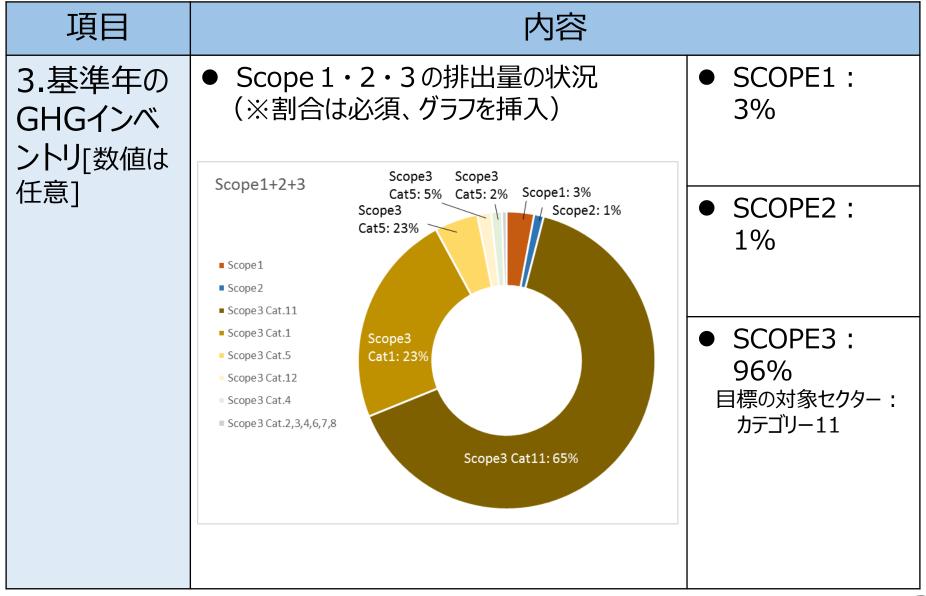
項目	内容
1.企業情報	● 業種:総合建設業● 事業概要:建築事業、土木事業、開発事業等● 事業規模[任意]:従業員数 8,415名
2.削減目標	<scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み=""></scope>
案 ※定量値公表 が難しい場合、 定性的説明でも 可	目標:施工段階のCO ₂ 排出量の削減 取組:より効率的な施工、重機・車両の燃料使用の削減と省エネ
	< <u>Scope 3 の削減目標と削減に向けた取り組み</u> >
	目標:運用段階の C O ₂ 排出量の削減 取組:ZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)を含む省エネ設計の推進



項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	 リスク: ・災害による人的・物的損失や工事中断・遅延・低炭素化技術の不足による受注機会喪失 機会: インフラ強靭化・再構築による受注機会増加・省エネ, Z E B 関連技術開発による受注機会増加
5.削減目標 設定の背 景・目的・期 待する効果 など	● 日本国もパリ協定に批准しており、大きな社会的要請のひとつである● ESG投資の環境分野の指標のひとつである

項目	内容
6.目標設定 のプロセスと 社内の議論	 ■ 環境部門で目標案を検討、社内環境委員会で社内コンセンサスを得た上で、SBTイニシアチブへ提出。 ● 目標の実現可能性について社内で意見があったが、既にある長期目標の実現や社会的要請に応えてバックキャストで目標を設定するという方針を説明し、理解を得た。
7.今後の課題	 Scope 1 の削減においては、排出原単位の低減のためICT等の利用による生産性の向上が必要がある。 Scope2の削減においては、電力の温暖化ガス排出係数の低下や更なる省エネの推進が必要である。 Scope3の削減においては、グリーン調達やZEBを含む省エネ設計の推進、サプライチェーンの環境配慮意識の向上が必要がある。